『熱い刺激』　　3年7組　三浦一華

私は、令和5年7月29日から8月2日に行われた、第47回全国高等学校総合文化祭（２０２３かごしま総文）の美術・工芸部門に参加しました。総文祭では、昨年度の構文連で出品された401点の作品が、鹿児島市立美術館と歴史・美術センター黎明館に展示され、他県の生徒との交流会が行われました。

全国の高校生が思いを込めて創った作品からは、鹿児島の暑さとは違った不思議な熱気のようなものを感じ、終始興奮と感動が止まりませんでした。また、この作品達を自分と同じ高校生が作ったのだと思うと、私の美術に対しての視野と世界が広がり、この刺激を忘れないうちに形にしたい、という創作意欲が湧き出てきました。交流会では、お互いの作品について解説し合い、制作に関して意見を交換でき、親交を深められた貴重な時間になりました。

総文祭に参加できたことは、私にとって、たくさんの感性に触れ、刺激を受け、吸収できた素晴らしい経験になりました。この経験は、私の作品の中で生き続け、私の世界を構成する大きな要素になると思います。これからも、作品への熱意を絶やさず、創りつづけたいと思います。

鹿児島県歴史・美術センター黎明館

鹿児島市立美術館

『Don’t　be　buried』